

# 学 習 指 導 案

日 時	令和6年11月28日(木) 4限		指導クラス		指導者	
教科(科目)	建築構造	単元名	第2章 木構造	教科書	実教出版	
単元の目標	建築物の各部位に求められる性能を理解させ、建築物の目的に応じた仕上げ方法を把握させて木造建築物の構造技術の要点を学習させる。					
単元の学習計画	単元ごとにプリントやICT機器、映像や実測をすることによって視覚的に確認できるようにする。					
生徒観	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業や課外活動に積極的に取り組む生徒とそうでない生徒との差が激しい。</li> <li>・作業を伴う授業には積極的に取り組むことができる。</li> <li>・理論的な情報よりも体感的、視覚的な情報に対する感度が高い。</li> </ul>					
本時の主題	木構造の階段の構成・形式			本時(2時間目 2時間)		
本時の目標	階段の寸法や建築物の様々な寸法を実測をし考察をしよう。					
学習活動に即した単元の評価規準	知識・技能 a		思考・判断・表現 b		主体的に学習に取り組む態度 c	
	在来構法の構造形式や構成部材、建築材料に関する基礎的な知識を習得し、木構造に関する諸事項を合理的かつ的確に遂行する技術や技能を身に付けている。		木構造に関する基礎的な知識をもとに、身近な建築物を観察し、構造形式や構成部材、建築材料について考え、自ら構想する建築物に適切に判断し、表現する力を身に付けている。		木構造のうちおもに在来軸組構法に関する基礎的な知識や技能に関心を持ち、習得に向け粘り強く取り組み、自ら立てた学習計画に積極的に取り組もうとしている。	
過程単位・分	学習内容	生徒の活動	教師の活動と指導上の留意点	評価の方法	評価規準	
導入	3	・本時の目標と学習内容の説明(プリント)	・プリントに記名	・プリントの配布と確認	学習活動の観察	
展開	45	1、階段の構成 2、階段の形式 について理解する。 (パワーポイントを白板に投影)	・白板を見て、階段の構成や形式の内容を確認する。	・階段の構成や形式を説明し、学校や家庭の階段との違いを説明する。	学習活動の観察	c
		プリント 1、学校敷地内の階段 2、学校敷地内の開口部 3、学校敷地内の通路幅 4、学校敷地内の門の幅	・グループを作り、巻き尺やメジャーを持って指示された場所へ測定に行く。	・測定方法を説明する ・生徒の様子を見る。	学習活動の観察	
		教室に戻り測定結果発表	・グループの結果をまとめ、クラスの他のグループの結果と見比べる。	・木構造と他の構造形式との寸法の比較を説明する。	学習活動の観察	
まとめ	2	本時のまとめ	プリント確認	・測定した寸法を確認する。  ・プリントに記入できているか確認する。	学習プリント	

## 第2章 木構造

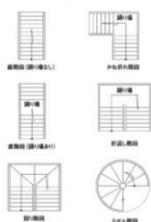
### 階段

#### 1階段の構成

階段とは…二つの階を連絡する通路

階段の種類…平面形状による種類

階段の構成…非常時に避難通路になるため複雑にしない

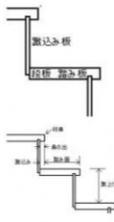


## 第2章 木構造

### 階段

#### 1階段の構成

階段の勾配…踏面とけ上げの寸法の割合で決まる



## 第2章 木構造

### 階段

#### 1階段の構成

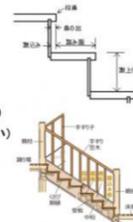
踏面とけ上げの寸法は

踏面寸法…15cm以上…26～30cm(望ましい)

け上げ寸法…23cm以下…15～19cm(望ましい)

階段の勾配…踏面とけ上げの寸法の割合で決まる

手すり高さ…踏板から手すり笠木まで70～90cmの高さとする



## 第2章 木構造

### 階段

#### 2階段の形式

側桁階段…側桁の両端を上下階に掛け渡し支える階段

ささら桁階段…段形に加工したささら桁を上下階に掛け渡し、踏み板を載せる

